

JRTU
No.205
2013
1月17日

あくせす

Access

JR九州労組大分
しんぶん

九州旅客鉄道労働組合
大分地方本部
大分市大道町1丁目8番1号
097-543-2223
発行責任者 玉井成之
編集責任者 遠藤晃元

2013 新春旗開き

大分地本は、1月14日ソレイユ7F(カトレヤ)にて2013年新春旗開きを開催した。来賓、分会代表者合わせて113名が出席した。後藤副委員長の司会により冒頭、玉井委員長が挨拶に立ち、重要課題として三つの課題について提起を行った。式典は来賓挨拶、鏡割り、歓談と進行し最後にガンバロー三唱で閉会した。



玉井委員長

昨年一年を振り返りますと、師走の総選挙で国民の審判が下り、自民党は大勝し、第二次安倍「危機突破内閣」を発足させ経済対策に最優先で取組む考えを表明しました。

未曾有の大災害からもうすぐ2年が経過します。一昨年の大震災は、私たち日本人に「つながり」「絆」「思いやり」の大切さを、あらためて気づかせてくれました。そのことこそが、私たちの財産だと思えます。長引く経済不況の問題など、乗り越えなければならぬ課題は多く、険しい道のりが予想されますが、いまこそ私たち日本人の絆を大切に、一歩一歩、力強く再生の道を進んでいかなければなりません。その為にも、国民の期待に安倍政権はどう応えていくのか、しっかりと見据なければなりません。

一方大分では、九州の東の窓口としての大分駅高架化や、駅周辺の連続立体交差がほぼ完成し、27年春の駅ビル開業に向け一段と大分市街地の活性化が加速し地域を元気にした年でもありました。今年も激動する、政治経済の社会情勢の中で厳しい年になることは間違いありません、私はその様な中、

団結ガンバロー!!



今年も組合員の一層の飛躍に向けて問題提起を行います。

一つ目は、安全の確立です。私たちが、先ず何よりも優先すべきは(安全最優先の職場作り)です。今後も労使あげて「安全の確立」と「安全風土の確立」「安全安定輸送の確保」に一層まい進し、安心・安全の公共交通機関としての責務を果さなければならぬと考えています。また4大労災の撲滅、その為にも今年も安全管理体制に空白職場を作らないことを重要な視点として運動を展開していきます。すべての関係労働者の死亡事故・重大事故ゼロを目指す運動を展開するため重大労災事故防止の行動指針の運動を展開し学習会の開催を浸透させて行き、組合員はもとより、協力会社社員など関連の職場の隅々まで(身を守る)意識の醸成に努めてゆく事を要請し更なる安全の確保に向けて組織を挙げて取組みます。二つ目は組織強化の取組みです。組織強化については、分会との連携を図り、日常の世話役活動を押し親員との接点多持ち、情報の提供や組合員とのコミュニケーションが取れるようレベル



アップを図ります。また青年・性差別等に自主性を求めて将来の活動化の育成も努めて行きます。

三つ目は2013春闘の取組みです。九州労組の2013年春闘は、昨年に引き続きグループ労組と連携し、賃金のベースアップや総合労働条件の要求を行います。懸案である55歳以上の賃金支給率改善を含む諸労働条件の改善を求めていきます。最後に大分市会議員選挙、かわち正直の三期目の挑戦であります。みんなの力を結集し「必勝を宣言」に河内市議については、何かなども二期目の当選を果たしてもらわなければなりません。どうか、最後まで宜しくお願いします。今年も私たちはJR九州とグループ企業発展と、ここに働く全ての労働者・ご家族の幸福の生活向上に向けて、先頭立ちで頑張っていく決意です。



かわち正直 決起集会!

必ず勝つ! みんなで勝つ!

2013年新春旗開きに先駆け同日10時よりソレイユ3F(牡丹)にて「かわち正直 決起集会」を開催した。100名の参加をいただいた。集会は佐藤元治総合後援会長の挨拶に始まり、津高大分支社長、柏原地元後援会長より熱い激励を受けた。かわち候補より三期目の当選に向けた決意表明があり、青年女性委員長の必勝コールで閉会した。投票日まで全力疾走!必ず勝つ!みんなが勝つ!

「来賓の方々」 来賓の皆様のご叱咤激励の挨拶により大分地本全組合員に元氣と勇氣そして力をいただき新年節目の意義ある旗開きとなった。



社民党 吉川 元 様



OB会 大分本部長 笠置 明男 様



鉄友会 会長 佐藤 元治 様



連合大分 会長 村田 政利 様



民主党 小嶋 秀行 様



九州労金 県本部長 宗安 勝敏 様



JR九州労組 委員長 徳田 哲也 様



JR九州 大分支社長 津高 守 様

